

糸川・初川周辺エリア

1. 目指すべき景観像

熱海らしさの原点を歩く

いとがわ はつかわ おおゆ ゆぜんじんじゃ ばいえん きのみやじんじゃ げいぎけんぼん
糸川・初川周辺エリアは大湯・湯前神社や梅園、来宮神社、芸妓見番といった、「熱海らしさの原点」と、糸川遊歩道など「ゆっくり散策できる道」との2つの側面があるため、それぞれについて地域特性及び景観づくりを進める方向性を整理します。



① 熱海梅園



② 糸川遊歩道

① 熱海らしさの原点

(1) 歴史



西暦 491 年に海底から熱湯が湧き出し多くの魚介類が死んだとの伝承が残され、平城遷都のころ来宮神社が勧請され、箱根山の万巻上人が湯前権現を祀ったと伝えられているなど、古くから湯の歴史に名を残しています。鎌倉幕府執権北条氏があてた文書に「熱海」と漢字表記されたものも見られるなど、鎌倉時代末には熱海の名が広く知られるところとなり、湯治に利用されていたと考えられています。熱海郷の湯宮である現在の湯前神社は西暦 1500 年代に建立され、本湯である大湯を中心に湯宿が形成されてきました。明治時代初期には大湯の蒸気を利用した温泉療養施設「噓氣館」が建設され、熱海温泉の効能の良さが広く伝わりました。このような歴史に因む景観は後世にも伝えるべきです。

(2) 自然・文化



湯治客の憩いの場

湯治客の行楽の場所として明治 19 年に熱海梅園が造成され、多くの来園客で賑わうこととなりました。梅園の整備は進み、梅の時期だけでなく紅葉も美しい年間を通じて楽しめる庭園となっています。パワースポットとして名高い来宮神社では、樹齢 2000 年超、本州第一位の巨木で国指定天然記念物である大楠などにより、神秘的な雰囲気^{もり}に包まれる杜が形成されています。近隣にある丹那トンネル建設時の鎮魂碑、丹那神社は、熱海発展の歴史が偲べられます。澤田政廣、佐佐木信綱、坪内逍遙、中山晋平といった文人墨客の史跡や大湯間歇泉、起雲閣などの文化施設も多く、熱海の原点を知るには欠かせないスポットです。こうした地域に守られた景観を引き続き守っていく必要がありますが、ゴミの散乱が見られるなど、美しさを保つ努力が必要です。

〈景観形成の主な課題〉

- ・景観原点（各拠点とその周辺）の適切な整備、維持管理

② ゆっくり散策できる道

(1) 散策



さまざまな遊歩道

糸川沿いは、初春にはあたま桜が開花し多くの観光客が訪れ、初夏にはブーゲンビリアも咲き誇り南国あたまを色濃く表現しています。来宮神社の御神木「大楠」のライトアップが毎日23時まで行われているため、宮坂は夜間の散策も楽しめます。隣接する銀座通り、浜町通りはそれぞれ特徴ある雰囲気があり、散策を楽しめるエリアです。この地域は鉄道で動線が分断されていることや、坂道が多いことから、わかりやすい道の整備や、サインの設置、無駄な看板の整理、地域資源と一体感のある舗装、気持ちよく散策してもらえるよう周辺の清掃等維持管理の徹底が望まれます。

(2) 観光



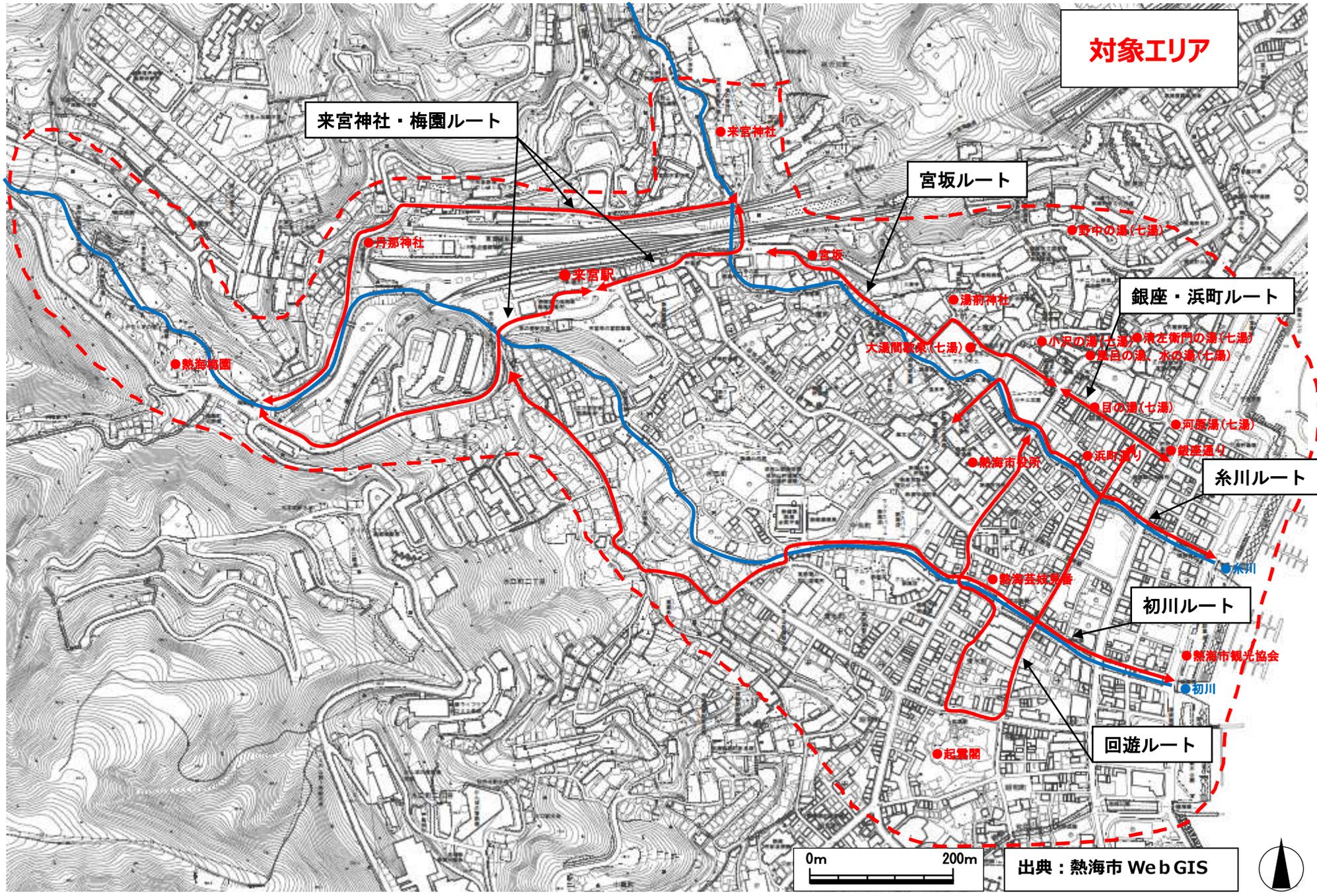
自然情緒を楽しむ

梅園の梅まつりや糸川の桜まつりといった花を楽しむ観光、梅園のほたる鑑賞の夕べや来宮神社のライトアップの幻想的な雰囲気、芸妓見番の華やかさなど、さまざまな雰囲気ある散策を堪能できます。ゆっくり散策してもらうためには拠点間に休憩場所を整備したり、売店等商業施設の設置、周辺寺社仏閣の魅力を再発見したり、近隣にある七湯の魅力向上などにより、歩いて楽しい観光地を目指す努力が必要です。またあわせて、景観を阻害しているだけでなく通行の妨げとなっているため、歩道上の防災倉庫や不法占拠されたものなどへの対処が必要です。 エリアの魅力向上には地域一体となった活動が必要です。

〈景観形成の主な課題〉

- ・景観に配慮した散策路の整備、維持管理
- ・屋外広告物対策（違反对策、分かりやすいサイン設置）

3. 対象エリア



地域特性や景観づくりの方向性から、改めて目指すべき景観像と景観目標を整理します。

目標1

熱海らしさの
景観原点を
満喫する



目標2

快適に
散策を楽しむ



景観づくり方針

- ① 熱海温泉の景観の原点を整える
(拠点とその周辺の景観向上)
- ② 街の景観向上
(一般地域の修景と魅力向上)

景観づくり方針

- ① 快適に散策できる景観ルート整備
(散策ルートとその沿道の景観向上)
- ② 適切な屋外広告物と情報提供
(情報の提供、屋外広告物誘導)

目標1 熱海らしさの景観の原点を満喫する

▶ 方針1-① 熱海温泉の景観の原点を整える

	取組み	短期	中・長期
景観原点の修景	来宮神社		<ul style="list-style-type: none"> ● 施設の拡充(事業者) ● 周辺道路・橋梁・鉄道ガードのデザイン修景(県、市(都市整備課、まちづくり課)、事業者) ● 背後地市源泉施設の修景、市温泉の利活用による神社の魅力向上策の検討(市(水道温泉課)、事業者)
	梅園		<ul style="list-style-type: none"> ● 施設の拡充(市(公園緑地課)) ● 周辺道路・橋梁・フェンス等のデザイン修景(県、市(都市整備課、公園緑地課))
	丹那神社	<ul style="list-style-type: none"> ● 来宮神社・梅園ルートの中間点としてフォトスポット整備等による魅力向上(市(都市整備課)、関係団体) *観光資源が適切に見える位置に眺望点(視点)を計画する 	
	大湯・湯前神社	<ul style="list-style-type: none"> ● 施設周辺の緑地等の適切な維持管理、温泉の雰囲気配慮した修景(事業者) ● フォトスポットの整備(市(都市整備課、公園緑地課)、事業者) *観光資源が適切に見える位置に眺望点(視点)を計画する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 施設の拡充(市(公園緑地課、生涯学習課)、事業者) ● 周辺道路・橋梁等のデザイン修景(市(都市整備課、まちづくり課)) ● 周辺駐車施設、児童施設との境界の修景対策の検討(市(都市整備課、学校教育課)、事業者)
	芸妓見番		<ul style="list-style-type: none"> ● 施設の拡充(事業者) ● 周辺道路・橋梁等のデザイン修景(市(都市整備課、まちづくり課))
	起雲閣		<ul style="list-style-type: none"> ● 施設の拡充(市(生涯学習課)) ● 周辺道路・橋梁等のデザイン修景(市(都市整備課、まちづくり課))
	全般	<ul style="list-style-type: none"> ● 施設の適切な維持管理(市(都市整備課、公園緑地課、生涯学習課)、事業者) 	

5. 景観施策(案)と実施主体・時期

	取組み	短期	中・長期
原点周辺の修景	電線類の撤去・整理	<ul style="list-style-type: none"> ● 電柱の片寄せ、裏配線等可視物を、拠点やフォトスポット周辺を優先し削減（県、市(都市整備課、まちづくり課)、事業者) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 無電柱化の推進（県、市(都市整備課、まちづくり課)、事業者)
	原点周辺の街並みの形態色彩の誘導		<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史を感じさせる建物の保存等、地域の将来像も踏まえた景観計画の見直し（市(まちづくり課)、地域住民、事業者)
	除草、清掃	<ul style="list-style-type: none"> ● 歩道の除草、清掃美化（市(都市整備課)、関係団体、地域住民) ● ポイ捨て禁止、歩きタバコ禁止等の啓発活動（市(協働環境課)、関係団体) 	
	原点周辺の修景	<ul style="list-style-type: none"> ● 魅力的なフォトスポットづくりのための、原点周辺施設の景観整備（県、市(都市整備課、公園緑地課)、事業者）*樹木等が眺望を妨げないように配慮する 	

方針1-② 街の景観向上

	取組み	短期	中・長期
景観向上の基本を整える	住民主体のまちづくり計画策定		● 地区まちづくり計画等を活用した地域の一体感を生む景観形成のルールづくり(市(まちづくり課)、地域住民)
	景観阻害要因の除去等対策	<ul style="list-style-type: none"> ● 汚れた建物外壁、擁壁、フェンス等土木構造物の清掃、美化(県、市(都市整備課)、地域住民、事業者) ● 落書きの除去(関係団体、地域住民) ● 汚水、温泉を川に流さないなど、河川の水質向上(市(協働環境課、下水道課)、事業者、地域住民) 	● 柵、フェンス、電柱等を景観配慮型の色に変更(県、市(都市整備課)、事業者)
	案内看板等の整理、撤去、イメージ統一	<ul style="list-style-type: none"> ● 不要な看板の撤去(市、事業者、地域住民) ● 案内看板デザイン・設置に関するガイドラインづくり(市(まちづくり課)) 	
	空調室外機、自販機の修景	<ul style="list-style-type: none"> ● 室外機等の目隠し(事業者、地域住民) ● 設置場所の雰囲気にあった色彩、電飾、交差点付近には置かないなど歩行者目線に配慮した自販機設置場所の選定(事業者) 	

	取組み	短期	中・長期
空の地利空活用家	空き家の活用による魅力景観の創出	● 一団の空き店舗等をシャッターアートなどの作品発表の場に提供(事業者、地域住民)	● リノベーションまちづくり団体との協働による施設整備、誘致(市(観光経済課)、関係団体)
	休憩施設の整備	● 七湯等周辺施設も併せエリア内にベンチ、日陰の設置整備(夏はミストシャワーなども)(市(都市整備課、公園緑地課)) *配置や向きを計画し、ベンチ等を要所に設置する	
	空き地の活用による魅力スポットの整備	● 土地所有者の同意を得て花と緑の環境美化運動(市(公園緑地課)、地域住民)	● 空地を利用した屋台村やイベント開催の検討(市(観光経済課)、関係団体)

目標2 快適に散策を楽しむ

方針2-① 快適に散策できる景観ルート整備

	取組み	短期	中・長期
景観散策ルートの魅力向上	糸川ルート	<ul style="list-style-type: none"> ● 街路樹、親水空間の適切な維持管理（県、市(都市整備課)、地域住民) ● プランター・ハンギングによる花いっぱい運動（事業者、地域住民) ● 仲見世通りのような自主ルール（歩道上へ荷・販売コンテナ・看板を置かない）による歩行空間の確保（事業者) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 歩道を占有している防災倉庫の除去（市(危機管理課)、地域住民) ● 移動円滑化のため舗装や変圧器等のあり方の再検討（市(都市整備課、まちづくり課)、地域住民) ● 御成橋上流の歩道、街路樹の再整備（市(都市整備課)
	宮坂ルート	<ul style="list-style-type: none"> ● 糸川ルートのブーゲンビリアの植樹をこのエリアにも拡大（事業者、地域住民) ● プランター・ハンギングによる花いっぱい運動（事業者、地域住民) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 案内看板や植樹、舗装デザインにより自然と人が流れるように宮坂と糸川（又は銀座通り）への接続の悪さを改善（市(都市整備課)、事業者、地域住民) ● エリア内寺社等隠れた魅力の掘りおこし（市(観光経済課)
	来宮神社・梅園ルート	<ul style="list-style-type: none"> ● 両施設の間地点に案内施設整備（事業者) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 周辺文化施設との連携強化（市(観光経済課、生涯学習課)、関係団体)
	初川ルート	<ul style="list-style-type: none"> ● 街路樹の適切な維持管理（市(都市整備課) ● 歩車道の違法駐車車両（特にバイク）除去（県、市(都市整備課)、関係団体) ● 手摺（フェンス）の適切な維持管理（市(都市整備課) ● 隣接スーパー敷地内の植樹スペースを再整備し休憩場所の確保（事業者) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 親水空間づくりの検討（県、市) ● 芸妓見番の雰囲気を生かした街路樹、舗装の再整備（市(都市整備課)
	銀座・浜町ルート	<ul style="list-style-type: none"> ● 歩車道の違法駐車車両（特にバイク）除去（県、市(都市整備課)、関係団体) ● バナーの整理、統一（事業者、関係団体) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 建物の色彩、看板等デザインの統一（事業者、地域住民) ● 路地裏の雰囲気を残す配慮（事業者、地域住民)

5. 景観施策（案）と実施主体・時期

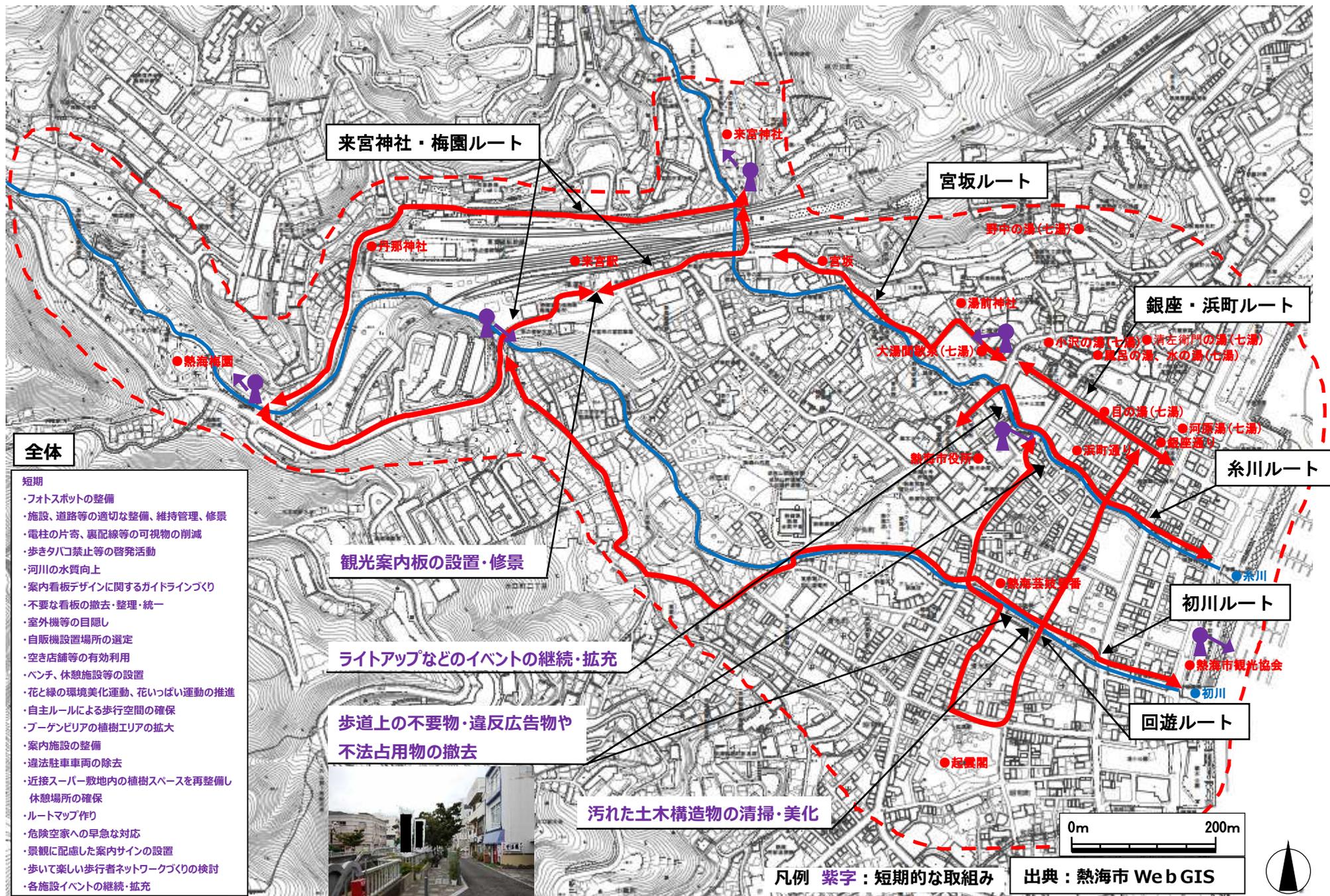
	取組み	短期	中・長期
魅力向上 景観散策ルート	回遊ルート		<ul style="list-style-type: none"> ● 糸川・銀座ルートと初川ルートの接続（なぎさ中通りなど）の魅力を向上させ、回遊性を向上させる（市（都市整備課）、事業者、地域住民）
	全般	<ul style="list-style-type: none"> ● 各ルートの穴場や文化施設も含めたマップ作り（市（観光経済課）、関係団体） ● 舗装割れ等の早期応急対応（県、市（都市整備課）） ● 危険空家への早急な対応（市（まちづくり課）） ● ルートの結節点に案内サイン（市（都市整備課、観光経済課）） *サイン類のデザインの統一を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地区の雰囲気配慮した舗装デザインの選定（県、市（都市整備課、まちづくり課）） ● ルートの拠点（来宮駅、観光協会、渚小公園、フォーラム、御成橋など）について修景上の配慮をする（市（都市整備課、公園緑地課）、関係団体） ● ルートの起点、中間点に休憩場所を設置（市（都市整備課）、関係団体）

	取組み	短期	中・長期
アメニティの 景観向上	歩道の拡充、歩行者専用道路の整備	<ul style="list-style-type: none"> ● 歩いて楽しい歩行者ネットワークづくりの検討（県、市（都市整備課、まちづくり課）、地域住民） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 移動円滑化を最優先に考えた歩道整備（県、市（都市整備課、まちづくり課））
	街路樹・街灯の整備	<ul style="list-style-type: none"> ● まちの美観に配慮した街路樹の定期的な剪定（県、市（都市整備課）） 	<ul style="list-style-type: none"> ● 背後の反射光にも配慮し一体感を醸成するような街路灯の整備（県、市（都市整備課））
	ライトアップによる通行の誘導		<ul style="list-style-type: none"> ● イベント開催時に会場から隣接拠点へのライトアップを追加し、回遊性を向上させることを検討（県、市（観光経済課）、関係団体）
	ライトアップイベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> ● 各施設イベントの継続・拡充（市（観光経済課）、関係団体） 	

方針2-② 適切な屋外広告物と情報提供

	取組み	短期	中・長期
屋の整理・適正化 屋外広告物・サイン	不要看板の整理・撤去	<ul style="list-style-type: none"> ● 禁止看板、同じ内容の看板等の整理、撤去（県、市（まちづくり課）、関係団体） 	
	観光案内サインのガイドラインづくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 案内看板デザイン・設置に関するガイドラインづくり（市（まちづくり課）） 	
	観光案内板の設置	<ul style="list-style-type: none"> ● ルートの切れ目など解りやすい誘導看板設置（市（都市整備課））*サイン類のデザインの統一を図る ● QRコードを利用するなど景観に配慮した地域全体の観光案内板の設置（市（都市整備課））*サイン類のデザインの統一を図る ● ルートの表示（市（都市整備課、観光経済課）） 	
	空き家等活用による整備	<ul style="list-style-type: none"> ● 駐車場への案内看板整備（周囲の景観に配慮）（事業者）*サイン類のデザインの統一を図る 	

6. 景観施策(案)のイメージ図



全体

- 短期
- ・フオスポットの整備
 - ・施設、道路等の適切な整備、維持管理、修景
 - ・電柱の片寄、裏配線等の可視物の削減
 - ・歩きタバコ禁止等の啓発活動
 - ・河川の水質向上
 - ・案内看板デザインに関するガイドラインづくり
 - ・不要な看板の撤去・整理・統一
 - ・室外機等の目隠し
 - ・自販機設置場所の選定
 - ・空き店舗等の有効利用
 - ・ベンチ、休憩施設等の設置
 - ・花と緑の環境美化運動、花いっぱい運動の推進
 - ・自主ルールによる歩行空間の確保
 - ・ブーゲンビリアの植樹エリアの拡大
 - ・案内施設の整備
 - ・違法駐車車両の除去
 - ・近接スーパー敷地内の植樹スペースを再整備し休憩場所の確保
 - ・ルートマップ作り
 - ・危険空家への早急な対応
 - ・景観に配慮した案内サインの設置
 - ・歩いて楽しい歩行者ネットワークづくりの検討
 - ・各施設イベントの継続・拡充

観光案内板の設置・修景

ライトアップなどのイベントの継続・拡充

歩道上の不要物・違反広告物や不法占用物の撤去

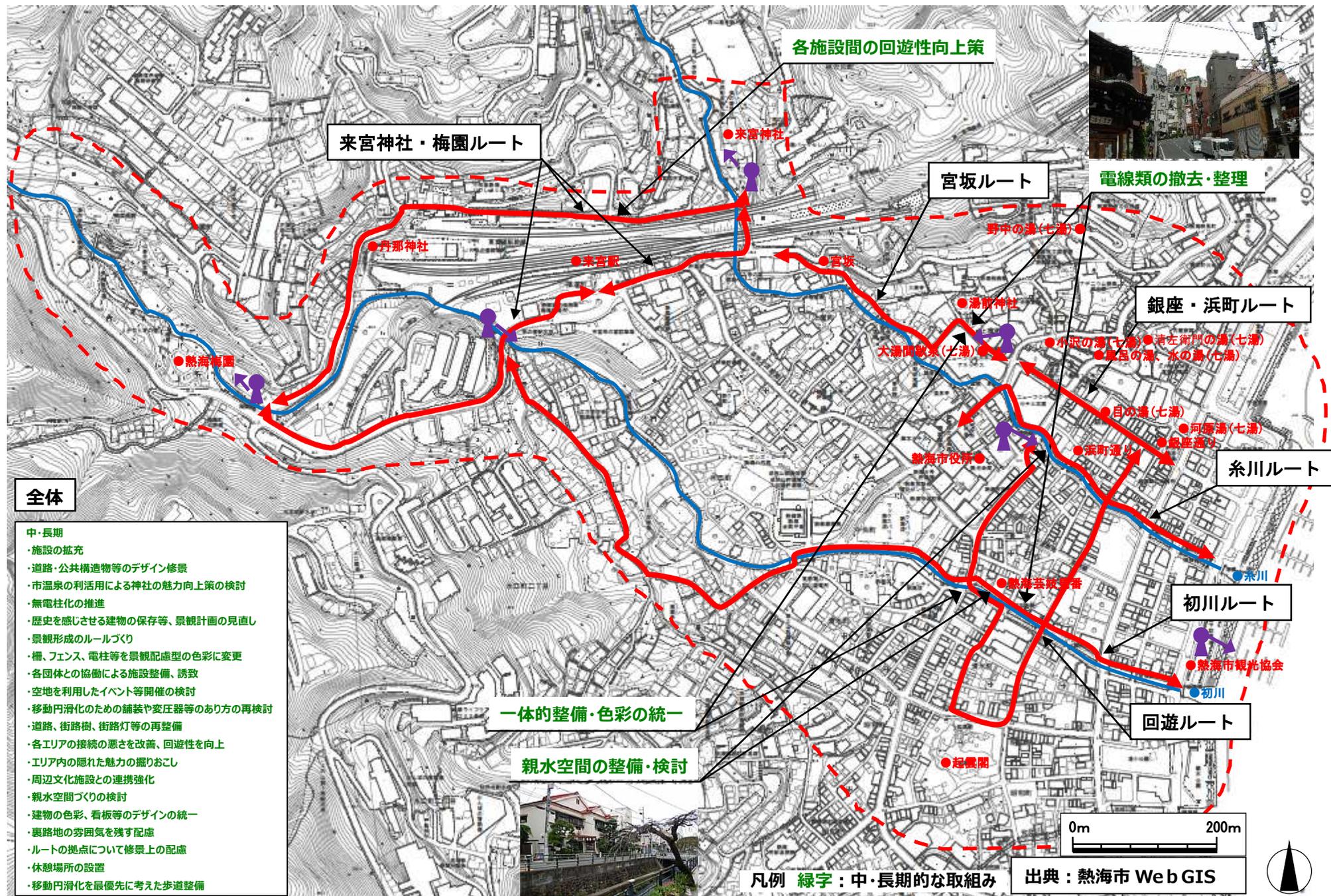
汚れた土木構造物の清掃・美化



凡例 紫字：短期的な取組み

出典：熱海市 Web GIS

6. 景観施策(案)のイメージ図



全体

- 中・長期
- 施設の拡充
- 道路・公共構造物等のデザイン修景
- 市温泉の活用による神社の魅力向上策の検討
- 無電柱化の推進
- 歴史を感じさせる建物の保存等、景観計画の見直し
- 景観形成のルールづくり
- 柵、フェンス、電柱等を景観配慮型の色彩に変更
- 各団体との協働による施設整備、誘致
- 空地を利用したイベント等開催の検討
- 移動円滑化のための舗装や変圧器等のあり方の再検討
- 道路、街路樹、街路灯等の再整備
- 各エリアの接続の悪さを改善、回遊性を向上
- エリア内の隠れた魅力の掘りおこし
- 周辺文化施設との連携強化
- 親水空間づくりの検討
- 建物の色彩、看板等のデザインの統一
- 裏路地の雰囲気を残す配慮
- ルートの拠点について修景上の配慮
- 休憩場所の設置
- 移動円滑化を最優先に考えた歩道整備

来宮神社・梅園ルート

各施設間の回遊性向上策

宮坂ルート

電線類の撤去・整理

銀座・浜町ルート

糸川ルート

初川ルート

回遊ルート

一体的整備・色彩の統一

親水空間の整備・検討

凡例 緑字：中・長期的な取組み

出典：熱海市 Web GIS